

小中学校初任者研修拠点校指導教員研修を実施しました。

今年度は、第1回の研修が中止となったため、センターでの初めての開催となります。第2回は、拠点校1年目の先生方と2年目以降の方の希望者で、72名の参加となりました。

まずは、先輩の拠点校指導教員の先生をお迎えし、「2・3学期の校内研修の充実に向けて」と題し、講義をしていただきました。



さまざまな初任者がいる中で、それぞれの初任者のよさを認め、力を引き出すための指導を試行錯誤しながら行っていくことの難しさを、講師の先生の御経験から話していただきました。受講者も実際に担当している初任者の様子を思いながら、耳を傾けていました。

また、授業を行う上で、子どもたちが興味をもつための効果的な方法についてわかりやすく指導する様子をパワーポイントで示していただきました。時折、笑いも交えながらの講義は、有意義な時間となりました。



続いて、愛知県教育委員会義務教育課の森指導主事から「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善と評価の在り方」についての講義をしていただきました。

新学習指導要領における学習評価の在り方について、受講者はポイントをメモに取りながら熱心に耳を傾けていました。

最後に、担当校種別に5グループに分かれ、司会の先生を中心に協議が行われました。



現在の様子を報告し合ったり、休校措置中の指導についての交流を行ったり、和やかな雰囲気の中で協議が進められました。

【受講者の声】

- 先輩の先生方から、実践の様子をお聞きすることができ、非常に参考になった。
- 拠点校指導教員は、本当に大変な仕事である。指導の難しさを感じるが、こうしていろいろな先生方と話しをして、皆同じように悩みながら頑張っているとわかり、また明日から頑張ろうと思えた。
- ここでのつながりを大切にして、今後も情報交換をしていきたい。